

# 名木といききの道

いききの道を歩き、いにしへの旅人の気分を味わうコース。  
古刹巡りや名木との出会いも楽しめます。

## ヤブツバキの頃がおすすめ

溝合神社からまむし坂を右に見て本願寺へ。ヤブツバキが赤い花をつける二月頃がおすすめです。車返八幡神社にも名木百選のスタジイがあります。はけた坂を上って、名木のシラカシのある諏訪神社へ。府中崖線白糸台緑地を通り、飛田給駅へ。



ヤブツバキ



大國魂神社  
景行天皇41年(11年)、武蔵国の護り神として大國魂の大神をまつたのが始まりとされています。平安時代には武蔵国総社となり、さらに六神社を合祀して総社六所宮と称されました。5月5日の「くらやみまつり」では、神輿巡行に日本一の大大鼓が登場します。

## 古刹と名木を訪ねて

竹林が美しい妙光院から化狸物語が伝えられる安養寺へ。モミノキが名木百選です。日吉神社、天神坂、名木百選のクスノキを経て、甲州への道として使われていた京所道に。京所は経所が転じたもので、国府の写経所があったことに由来するといわれています。普門寺(目の薬師様)から府中競馬正門前駅へ。



所要時間：約2時間40分  
6.4 km



## 瀧神社から東郷寺

いききの道は筏道、はけた道のほか、瀧神社の崖上を通ることから御瀧の道とも呼ばれます。階段を下りると、御神木で名木百選のケヤキがあります。清水が丘緑地を経て、東郷寺山門へ。参道右手のシダレザクラは名木百選。イロハモミジも名木百選です。東郷寺下の交差点まで下り、いききの道に戻ります。



瀧神社



いききの道

## 坂の名も由来も面白い

天地の坂を通り国府八幡宮へ。坂の下に天地の屋号を持つ水車があったことが由来です。途中、馬坂もあります。府中では昔、馬市も開かれていました。神社へ至る道が八幡道。鳩林坂のヤマザクラは名木百選です。柳の大木があったといわれる柳坂が上がって、いききの道に入るところに道標があります。いききの道は、武蔵国の国府から東海道の大井の駅と甲斐国の国府へ通じていた古街道で、行ったり来たりするという意味で「いききの道」と呼ばれ、府中30景の一つとなっています。

大國魂神社大鳥居の前の大ケヤキ



## 大國魂神社の境内を歩く

府中駅を出発し、けやき並木通りを大國魂神社へ。この並木は国の天然記念物で、起源は平安時代に遡ると伝えられています。大鳥居前の大ケヤキは府中名木百選。境内のケヤキ、コウヨウザン、イチヨウ、ムクノキも名木百選です。宮東公園を通り妙光院へ。イチヨウが名木百選です。